



身体も、交わる。

GQuuuuu/seX

総ページ45P
基本CG 6枚

偶然、人型機動兵器に乗り込んだ
『アマテ・ユズリハ』こと『マチュ』さん。

あるうことか、それで
荒くれ者たちのバトル
『克蘭バトル』にて、勝利を収めてしまいます。

あゝあ、バカな子ども…。

ヨソから来たガキに恥をかかされた男どもが
ききになにをするか、
わからないわけでも、ないでしように…。

おめでとう
おめでとう。



「はむ…♡んんちゅ…♡
はあ、はああ…♡♡♡」

「おお、勝手に感じてないで
ちゃんとチンポ奉仕しろよ？
マチュちゃあん？」



「あむ……んんッ♡
だだって、仕方ないじゃん……っ♡
こ、こんなデッカイの……♡
これで、ハメ……うひひ……っ♡」

んはあ〜

ちゅ

ぬちゅ

はあ〜

「勝手にトランスするんじゃないっての。
あ、このガキ、マジでこんな簡単に……」

「はぁ♡はぁ♡♡
ちんぽ♡ちんぽ♡♡
かつこいい♡好き…、すごい♡
チュツ♡ちゅ、ちゅ♡♡」

「お、お、お？
お、そこそこ…♡
カリ首吸われるの、ぎゅ♡♡♡」



「ふへ♡チンカスもたっぷりじゃん♡
ちよー、やらしいよね、コレ……♡
女泣かせるための武器じゃん……♡
はああ♡ちゅ、れる……♡かつくい♡」

とき

とき

ふふふ

「そうそう……」

俺等に恥かかせたデメエを

完璧に屈服させた、男の最終兵器よ。

おら、もっと崇めたてまつれや」

ぬちゅ

とき

「はぁぁ……♡すんすん……ッ、あっ♡
匂い♡オスのにおい、キツツ……♡
オス臭強い……♡まん汁乾いた、変な匂い……♡
エロすぎ、エロすぎ……♡♡♡」

は♡

どき♡

は♡

は♡

どき♡

は♡

どき♡

ぬち♡

ち♡

「……にしても、こうなりや型なしだなあ。
バトルに颯爽現れた新星さまも、
完全にチン堕ちメスペットじゃねえか」



「チンポ♡ちんぽっ♡はあ、はあ…っ♡
あむ、ああむッ♡すき♡これ好き♡
かつこいい♡好き♡もっ♡もっ♡
ちんぽお♡ちんぽちんぽオ♡」

ほ♡



ちんぽ♡

「チノマシンでちよつと理性を弱めて
レイプしたただけなのになあ…。
天性の好きモノか。
女ってマンコに脳みそ付いてんだな」

はあ♡

ほあ♡

ちんぽ♡

ちんぽ♡

チンポ♡

「ね、ねえ♡ねえ♡え♡
しよっ♡しよっ♡え♡
もう、が、ガマンできない…っ♡
ガマンできないよお…♡」

「おめえわかってんのか？
てめえに壊されたマシンの代金、
てめえの身体で払ってもらってるだけ」



「もう、そんなのいいからっ♡
いいから、しよう？♡しよう♡
セックス♡レイプ♡
ちんちん、まんこに入れよう？」

今すぐさア♡」

「あゝ…ダメだ、コイツ。
もう人として終わってるよ…。
人間ってより、チンパンジーに近いな。
可愛すぎだわ。愛と責任を持って、飼育するわ」



「なに言ってるんの？ おっさん♡
まんこグチュグチュなのわかるでしょ？♡
ほら、ここにインサートしよう？♡
勃起ちんぽ♡ここに、ぶちゅうっ♡てさ♡
ね？♡フアツク♡フアツクミーっ♡♡♡」

どき

へっ

「わあかったよ、わかった。
いいから、ちんぽにまんこ、擦りつけるな。
これ以上、チンイラが溜まると、
なにしかすか、わかったもんじゃねえぞ」

ぬちゅ
ぬちゅ

「ふひ♡やった♡
は、はやく、ねえ…♡
はやく♡はやくしよう♡
まんこに入れるよう？ 入れるから♡」

はっ♡
どき♡
はっ♡

どき♡

はっ♡
どき♡

「ああ、ちよ、ま」



「ツ、あああああああッ♡
あは、あッはは♡きた…あッ♡
ちんちん、ナカ♡入っってきたア♡」

ズンッ♡

「はあい♡現役女子高生♡
ユズリハちゃんのおまんこに
常連ちゃんぽ様♡入ってまあすっ♡♡
ッ、ふ、ふうう…っ♡♡」

め
ちん

「うっ、く……ッ
何度入れてもヤベェな、こいつの……ッ
グネグネ動いて、しかも、締まっても、きやがる……ッ」

「うっへへへっ♡あゝ……っ
ちんぽ、き……っもちいいッ♡
でっかいちんぽ、硬いのっ♡
奥まで、ゴリゴリいい……♡♡」



「あ、バカ！
腰へこつかせるなっ♡
おまえのまんこ、マジヤベェんだって…ッ」

はっ♡

はっ♡

はっ♡

「お♡お、おおっ♡
お、おく♡おく、グリグリい♡
これこれこれエ♡ぽるちお？♡
いっちばん、奥♡ちんぽでほじほじ…ッ♡
イ…っ、いいいい…ッ♡♡♡」

ちんぽ

ちんぽ

ちんぽ

「あ、ヤベ…っ
くそ、これ、マジでもたねえ…ッ
おい、ちよ、ちよっと落ち着こう。
ね？ ちよっと落ち着こうよ。お嬢ちゃん」

「あっ♡あッ♡へへっ♡
とんとんとんっ♡たあんたあんたあん♡
は、はああ♡ああああ♡ちんぽイイ♡
ちんぽイイ♡セックス♡ピストン♡
めっちやイイいよお…っ♡」

「あへっ♡はああ♡
腰とまんないっ♡こし、パンパン♡
とまんによい♡まんこぐじゅぐじゅ♡
えへへ♡やらしー汁♡びちやびちやあ♡」

「おほ♡ほおお……♡
な、なんか♡ちんぽ♡先っぽ♡
ぷくって…ツ、あ、あ…っ♡
これ、あ…ツツ、ん、あああああツ♡♡」



「ああああ…、やっちまっしたなあ」
「アレ？ あれえ？」
「もう？ もう出ちやっした？♡」

「あっへへっ♡
弱くない？ おじさん？♡
ちんぽ弱くない？♡
こんなのなの？ これで本気？
あゝあ、ちよっとガツカリかもお……♡」

「……………」
「萎えちゃうの？ おちんちん
しょんぼりしちゃうの？
もう立てない？ あーあ…
こんなもんかあ…♡」

はぁ

はぁ

とき

「なあんだ、やっぱ

子供相手にマシン勝負で負けちゃう

おじさんは、おちんちんも弱いんだね…♡

あーあ♡あーあ♡ああ？♡ ひっひっひっ♡」

とき

とき

とき

とき

ハッ
ハッ
ハッ

はぁ

「舐めんな! ガキがア!」
「お?♡おおおおおツ♡♡」
「このまま、イかせ殺してやるあ!」

「や、やった♡やったあ♡
う、うん♡殺して♡ちんぽでして♡
ちんぽで♡殺してえ♡
イきたい♡イき死にたいいっ♡」



「舐めやがって！舐めやがって！」

「おっ？♡お？♡お、おとお♡」

あ……ッ♡くあ♡はへっ♡はへええっ♡

これ、奥ッ♡奥、ガンガン……ッ♡」

「どうせこうされたかったんだろ！
バカメスが！ 真正のマゾメスがよおっ！」
「うんっ♡うんっ♡さ、されたかった♡
ちんぽで串刺しっ♡ッ……っ♡はあっ♡
まんこね♡ドチュドチュっ♡しやれたかったあ♡」

ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ

「返事は『はい』だ！ パカが！」
「んおツ♡お♡は、はい♡
はい♡はい♡しゅ、しゅみましえんっ♡♡」

「ちゃんと敬語も使え！ ったく、
ちんぽで駄けてやらねえと、なッ!!」
「はひっ♡はひい♡おねがいしますっ♡
おねがい、ひい♡しまあしゅッ♡♡」

ちゅ
ちゅ
ちゅ

ぬちゅ

「おら、礼はどうした？
ちんぽ挿れてもらった礼だよ！」
「はい♡はい♡あ、ありがとうございましゅっ♡
ちんぽ♡ちんぽ様♡挿れていただ…ぎいいッ♡
あ、あ♡やめ…♡そんな、激しくしたらあッ♡」

「激しくしてやってんだろぅが！
好きもののJKがよお！」
「あはっ♡あ、ありがとうございましゅっ♡
ありがとうございましゅっ♡
ちんぽ…、おおおっ♡き、ぎもちいれしゅっ♡」

「ちんぽで子宮段られるのが
好きなんだろ！ 犯されるのがよ！」
「はい♡しゅき♡しゅきしゅき♡
これ、しゅきれすっ♡オス様に♡
ハメていただくのっ♡」

「ガンガンっ♡おかしやれりゅのっ♡
好き♡しゅきになっぢやいましたあ♡」
「よかったな、おめでとうっ！」
「あ♡ありがとうございますっ♡♡」

「よおし、景気づけだ！
また一発、注いでやっからよオ！」
「おほっ♡おほっ♡うれしっ♡
うれしいれす♡まんこ♡まんこお♡
キュンキュン♡キュンキュンとまんにやいい♡」

んあっ♡

んあ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

「おっ♡おおっ♡
あ、やだ……っ♡まんこ、まんこ締まるっ♡
せーし欲しくて♡勝手に締まる……ううっ♡
ご立派ちゃんぽに♡ごほうししちやいましゅ♡」







「あ〜…♡ああ〜…♡つ♡
ちんぽ♡チンポしゅごいひい…♡」
「やれやれ、まったく、なんてマンコだ…。
チンポ絞り性能、☆5つじゃねえか、
レビューを投稿したいところだぜ…ッ」

はあ〜♡

「お、お♡…おっ♡
んあ♡は、はああ…♡
ちんぽ、ちんぽ、いい…♡」
「あ〜もう、マンコ締めるなっ…。
また出ちまうわ、ったく」

ぬちゅ♡
ぬちゅ♡

「よし、テンポ落とすぞ。」

さすがに腰疲れたし……」

「お、お……っ♡あ、そこそこ……っ♡」

あ♡そこ、いい♡いいところに……っ♡

ちんぽの太いトコ、当たって……エ♡♡」

「あ……♡あああ……♡」

ちんぽ、ちんぽ♡こんなのよすぎいい♡

せつくす♡セックスやばいよお……♡

これだけしたい……♡ちんぽだけ、チンポだけでいい♡」

ぬちゅ

ちゅる

くちゅくちゅ

「おら、とんとんとん…」

「お、お、おっ、お♡」

「あっは、やべえ、面白え…♡」

「ちんぽで演奏できる楽器だね、コイツ」

「あ、遊ばない、れ……えへえ♡」

は♡

お♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

「あ？なんだって？」
「んあっ♡あ、つ、ちゅよくしちやあ♡
あへっ♡ま、またイク♡イクからあっ♡
まんこで、あたま、へんになりゅ…♡」
「ああ？」

「オメエはまだわかんねえのか！
目上の人間には敬語使えってんだ！」
「んおおおッ♡ うおっほ♡ほ、ほおお♡
強い、つよい♡ちゅよいちゅよい♡」

「わかったのか、わからなかったのか！
どっちなんだいっ！」
「はひっ♡はひい♡」
しゅみませんっ♡すみませんっ♡
あ、あやまりましゅから♡ちんぽっ♡
ちんぽでイジメないれえ…ッ♡」

「まったく、ホントに覚えの悪いガキだ。
こうなりや、徹底的に馴けしてやらにやあな」

「あ♡は、はい♡はいっ♡
しっけて♡きょーいくしてっ♡
んっ♡あはあ♡」

ほ♡♡

はあ♡

「ちんちん♡ちんぽ♡オスちんぽ様あ♡
あたまのわるいバカまんこにっ♡
チンポ様の♡ごしどう♡ほしいれすっ♡
ちんぽでなぐって♡けって♡
オス様への礼儀♡おしえこんでくらしやいっ♡」

「うるせエ！ おまえは黙ってる！」

このままあんあん言ってるや十分なんだよ、

このオナホガキが！ いいからマンコ締める、バカ！」

「っっ♡はい♡はい♡

それならできましゅっ♡と、とくいれすっ♡

まんこぎゅうして♡あんあん言いましゅっ♡」とき

とき

とき「あ、ッあっ♡あ、は、はやいっ♡

お、お、お♡も、もう♡なんかいい♡何回もしてるのにな♡
はあ♡お、お♡お♡か、かたい♡おつきいままあ♡
はあ♡♡すてき♡すてき♡すぎるよお♡♡」

とき

ズバズバ

「あッ♡あッ♡あッ♡あん……ッ♡
つよい♡つよつよオスちんぽ♡
ちんぽ♡こんなの勝てないっ♡
まんこ弱いもんっ♡
わたしのまんこ♡よわすぎいっ♡♡♡」

「あッ♡♡♡あ、あッ♡
や、やだ♡またイク♡ちんぽさまに♡
い、イかしやれるっ♡あはっ♡んあ♡
お、おおおっ♡い、イクイクイク……ッ♡♡♡」





「あゝあ、結局こうなるのか……」

「えっへへ……♡」

「あんなしちやったら、出来ちゃうもんね♡
ナカで出しすぎなんだよね、うっひひひ……♡」

ほあ♡

ほあ♡

「あゝあ、これで、オレも
年貢の納め時かあ……」
「っ♡♡ あ、やば……♡
垂れてきちゃった……♡」

ト♡

ト♡

「今日も♡おじさんに♡
いい♡はい♡出されちゃいました♡
……お腹にいるのにな？ ヒドイ人お♡」
「いい♡はい、出しちゃいました。
後悔はしていない。……たぶん」

は♡

「えっへへ、もういいじゃん……♡
今日も配信、いっぱいお金もらえたし♡」
「はあ、何の因果か……」
「諸行無常、とはこのことか」
「？ 賢……なんとかモードってヤツ？
こっちに帰ってこい」

「あゝ、もういいや。
腹減ったし、なんか食うか？」
「……ねえ」
「えッ!?」



「あのさ……♡」
「嫌です」
「お願い、なんですけど」
「断る」

「ちよつと、ムラってきちゃった……♡」
「お、おまえ、ウソだろ……?」
「ねえ、ねえ?♡」
「いや、あのですね。男性にはチャージ期間が」
「今だけだよ? 経産婦まんこでできるの……♡」

「……………」
「あれ? なんからお尻に
当たってるなあ……?」
「おやおやおやあ……?」
「こ、こんガキあ……ッ!」



『今一度！
再教育の時!!』
「あは♡待ってましたあ♡
えっへへ♡ご指導♡
よろしくおねがいしまあすっ♡」

はあ♡♡

オ
キ
ン
!

オ
キ
ン
!

黒いめろ・いえろ

2025/02

『GQuuuuu/seX』

当作品の無断複製・無断アップロード・無断配布
また、画像の改変や使用等は禁止しております